



Ideas & Chemistry

2014.11.5

2014年度第2四半期
決算説明会資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

上期実績

- 営業利益は前年比20%減益
- フィルムで、新設備への移管および新製品拡大に伴う費用増。
加えて、包装用が夏場の天候不順の影響などで苦戦
- 新製品(コスモシャイン SRF・ナーブリッジ等)の拡販や海外展開進む

通期予想

- 下期は、フィルム部門他の回復、新製品の拡販効果により、
収益改善を見込むも、通期予想については下記の通り修正する

	13年度					14年度					直近見通し (2014/08)
			上期	下期				上期	下期(予)		
	1Q	2Q				1Q	2Q				
売上高	853	892	1,745	1,771	3,516	829	894	1,723	1,877	3,600	3,650
営業利益	52	61	113	97	210	40	50	90	130	220	240

(億円)

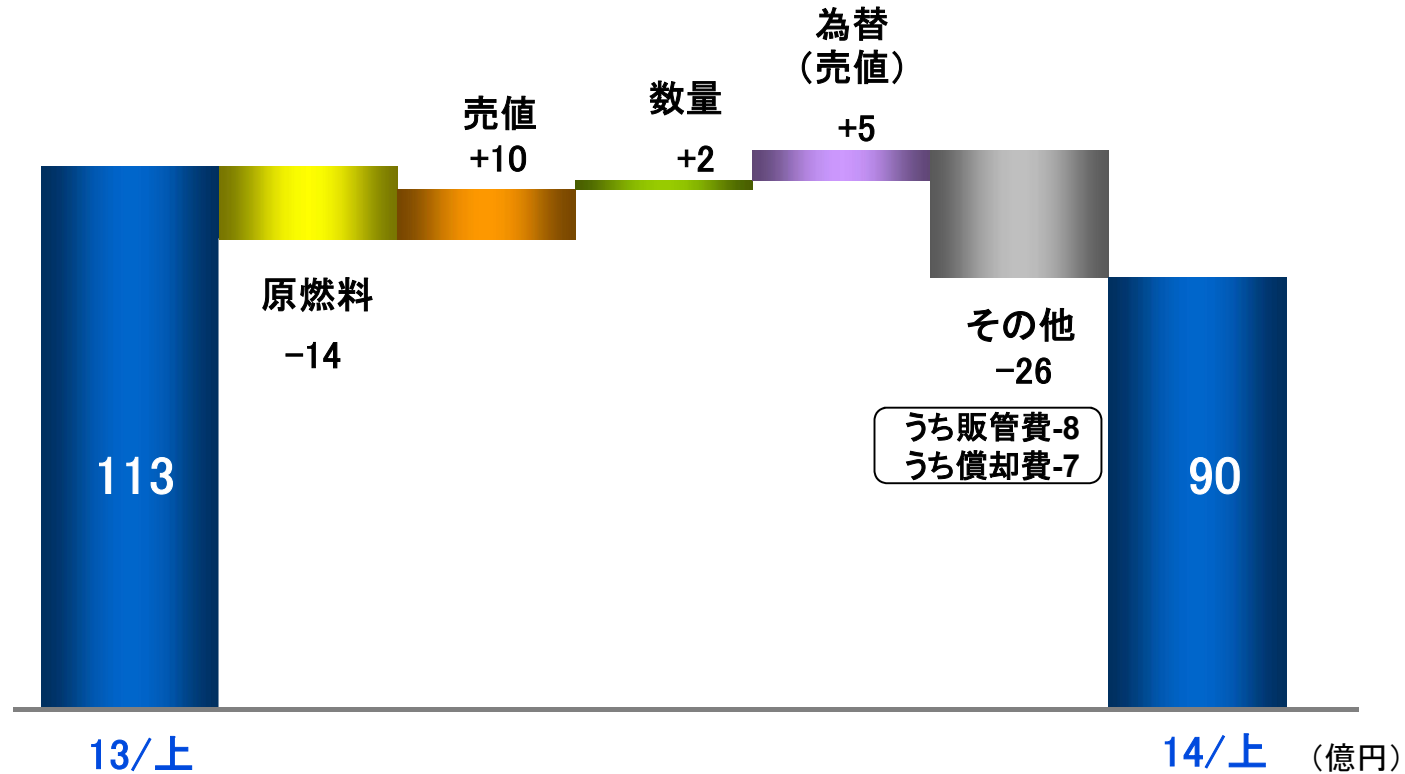
I . 2014年度第2四半期決算概況

(1) 決算概要 ①PL・CF

	(億円)					
	13上	13下	14上	前年同期比		直近見通し (2014/8)
				金額	率	
売上高	1,745	1,771	1,723	-22	-1.2%	1,750
営業利益	113	97	90	-22	-19.8%	110
(率)	6.5%	5.5%	5.2%	-	-	6.3%
経常利益	108	76	53	-55	-51.2%	100
うち持分法損益	3	-1	-22	-25		
当期純利益	52	30	26	-26	-49.7%	52
EPS(円)	5.8	3.4	2.9	-	-	5.9
減価償却費	68	73	75	+7	+10.7%	
設備投資	110	91	80	-30	-27.2%	
営業CF	170	70	85	-85	-50.0%	
為替レート(円/US\$)	99	101	103			
国産ナフサ価格(千円/KL)	65	70	71			

営業利益増減要因分析（前年同期比）

【13年度上期→14年度上期】



	13上	14上
円レート (¥/\$)	99	103
国産ナフサ (千円/kl)	65	71

②BS

	13/3末	14/3末	14/9末	(億円) 14/3末比 増減
総資産	4,474	4,563	4,517	-46
純資産	1,555	1,451	1,466	+15
自己資本	1,380	1,423	1,438	+14
(自己資本比率)	30.8%	31.2%	31.8%	
少数株主持分	175	28	29	+0
有利子負債	1,594	1,707	1,718	+11
D/E レシオ	1.16	1.20	1.20	

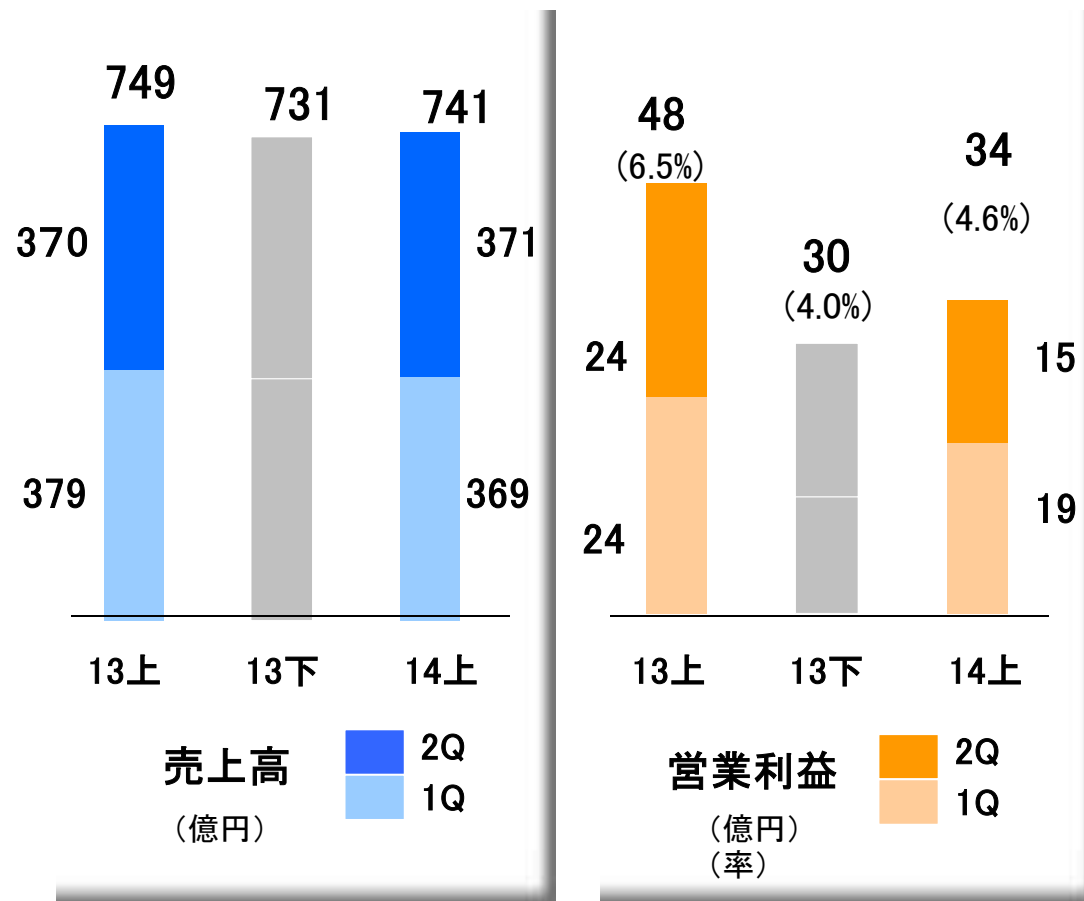
(2) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			前年同期比
	13上	13下	14上	13上	13下	14上	
フィルム・機能樹脂	749	731	741	48	30	34	-14
産業マテリアル	347	370	322	23	32	26	3
ライフサイエンス	131	143	141	26	25	23	-3
スペシャルティ計 (率)	1,226	1,244	1,204	98 8.0%	86 6.9%	84 6.9%	-14
衣料繊維	397	394	384	18	12	9	-8
不動産・その他	121	133	136	14	14	12	
消去・全社	-	-	-	-17	-15	-14	
合計	1,745	1,771	1,723	113	97	90	-22

① フィルム・機能樹脂

フィルムで、新設備への移管および新製品拡大に伴う費用増。
 加えて包装用が夏場の天候不順の影響などで苦戦



● 工業用フィルム

- ・新設備稼働に伴う移管費用増
- ・新製品の拡大に伴う試験費増

● 包装用フィルム

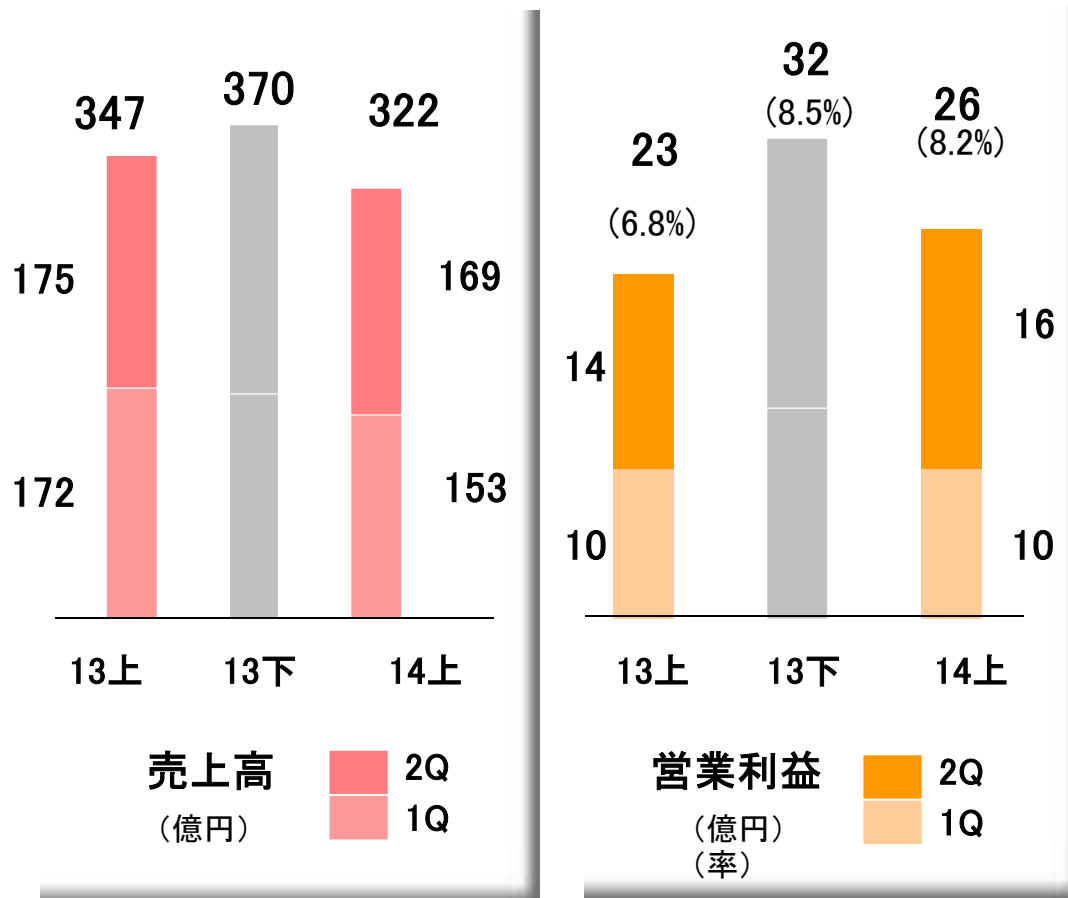
- ・天候不順により食品用で数量減
- ・2Q末より秋需もあり回復傾向

● 機能樹脂

- ・“バイロン”は、スマホ向け好調
- ・エンプラは、海外展開進捗
- ・光機能材料が海外で好調

② 産業マテリアル

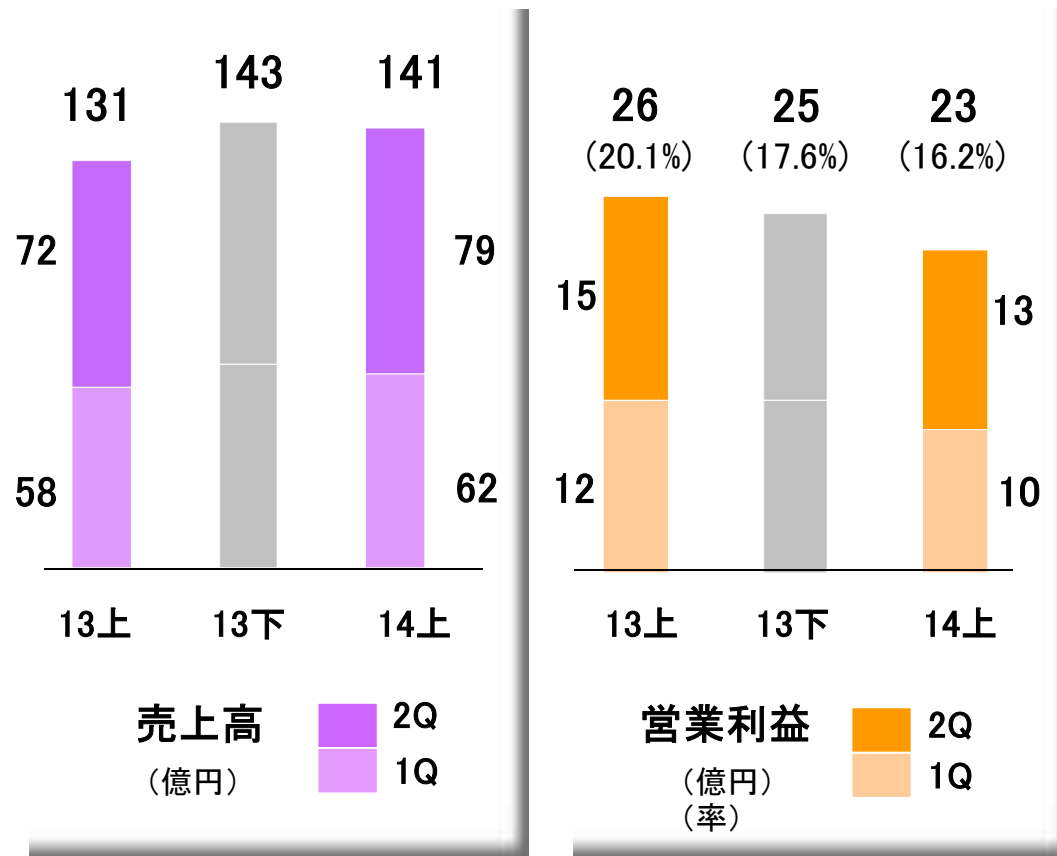
エアバッグ用基布は、原料高の影響で苦戦も、
機能性クッション材、自動車・土木建築用の不織布が好調。



- **自動車テキスタイル**
 - ・エアバッグは、受注は堅調
原料高の影響
- **スーパー繊維**
 - ・耐熱用途の“ザイロン”が堅調に推移
- **生活産業資材**
 - ・機能性クッション材“ブレスエアー”が
販売先を拡大し、出荷堅調
- **スパンボンド**
 - ・自動車・土木建築向けが好調

③ ライフサイエンス

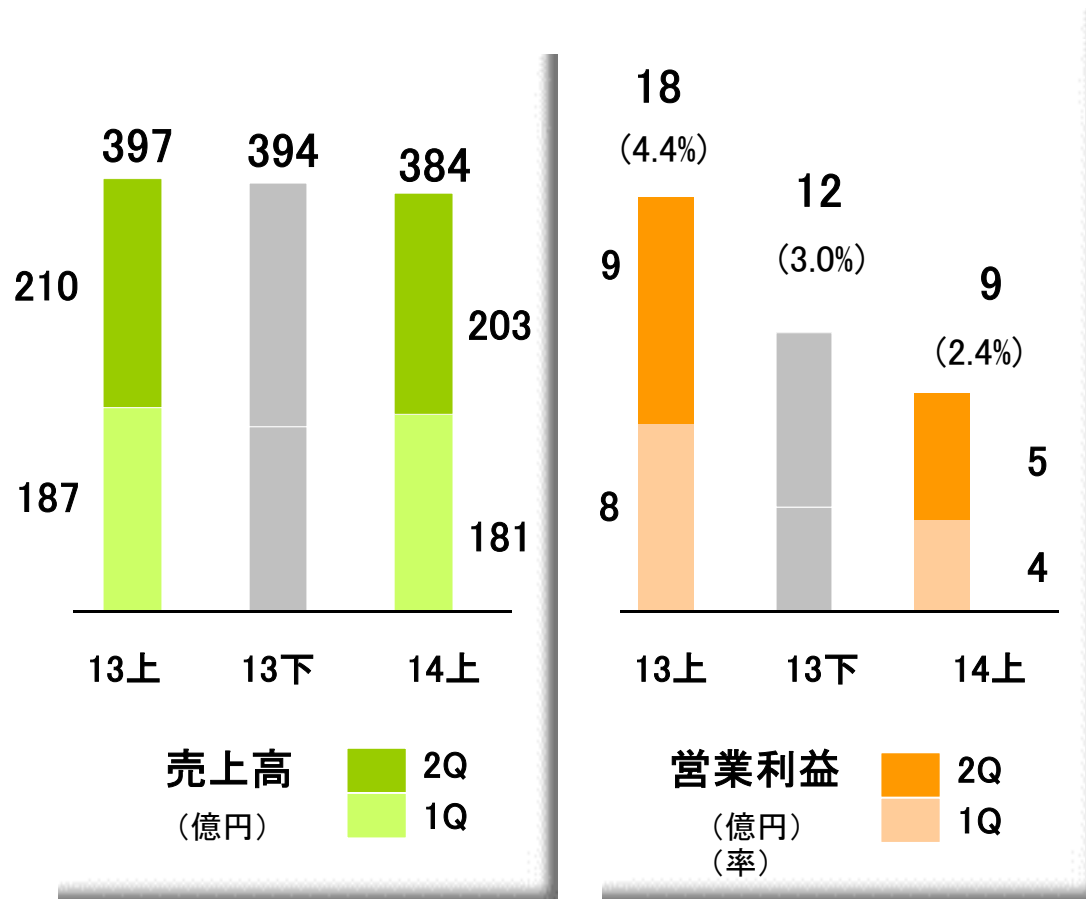
医薬が受託案件の延期影響あるも、診断薬用酵素が国内外で好調を維持。“ナーブリッジ”は着実に販売進捗。



- **バイオ**
・診断薬用酵素が国内外で好調
- **医薬**
・受託案件の延期影響
- **医療機器**
・“ナーブリッジ”は、症例数増加
- **機能膜**
・医用膜は、出遅れも回復傾向

④ 衣料繊維

中東向けは、流通在庫調整により販売量減少
 アクリル繊維は、中国市況の軟化と原料高の影響



● 東洋紡STC(繊維)

- ・中東向けトープは、流通在庫の調整により販売量減少

● 海外関係会社

- ・中南米事業の市況軟化

● アクリル繊維

- ・中国市況の悪化と原料高の影響を受け苦戦

Ⅱ. 2014年度業績予想

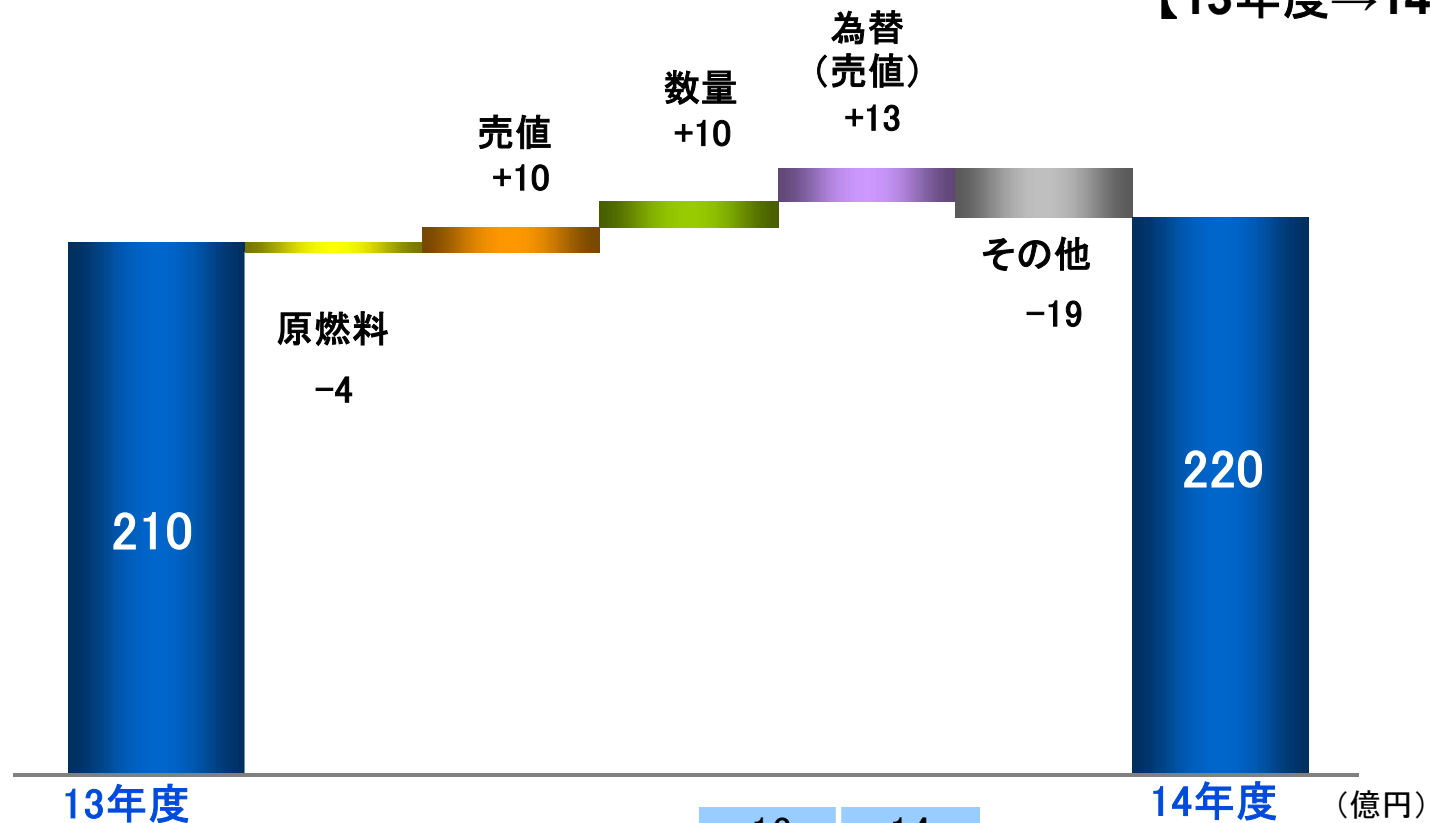
(1) 業績予想

(億円)

	13年度実績	14年度予想			増減		直近見通し (2014/8)
		上	下		金額	率	
売上高	3,516	1,723	1,877	3,600	+84	+2.4%	3,650
営業利益	210	90	130	220	+10	+4.7%	240
(率)	6.0%	5.2%	6.9%	6.1%	-	-	6.6%
経常利益	184	53	112	165	-19	-10.5%	215
当期純利益	82	26	59	85	+3	+4.2%	110
EPS(円)	9.2	2.9	6.6	9.6	-	-	12.39
減価償却費	140	75	75	150	+10	+6.9%	150
設備投資	201	80	100	180	-21	-10.3%	180
為替レート(円/US\$)	100	103	108	106			101
国産ナフサ価格(千円/KL)	67	71	66	68			71

営業利益増減要因予想

【13年度→14年度】



	13	14
円レート (¥/\$)	100	106
国産ナフサ (千円/kl)	67	68

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高				営業利益				直近見通し (2014/08)
	13年度	14年度予想			13年度	14年度予想			
		上期	下期			上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,480	741	789	1,530	78	34	46	80	90
産業マテリアル	717	322	398	720	55	26	39	65	65
ライフサイエンス	273	141	164	305	51	23	35	58	60
スペシャルティ計 (率)	2,470	1,204	1,351	2,555	184	84	120	203	215
					7.5%	6.9%	8.9%	8.0%	8.3%
衣料繊維	791	384	396	780	30	9	13	22	35
不動産・その他	254	136	129	265	27	12	13	25	25
消去・全社	-	-	-	-	-31	-14	-16	-30	-35
合計	3,516	1,723	1,877	3,600	210	90	130	220	240

Ⅲ. 2014年中計進捗

アクションプラン

1. 海外展開加速

- サウジアラビア 海水淡水化用逆浸透膜 生産設備増設
- メキシコ エンプラ現地法人設立へ

2. 新製品

- 超複屈折ポリエステルフィルム “コスモシャイン SRF”
- 神経再生誘導チューブ “ナーブリッジ”
- シュリンクフィルム “スペースクリーン” New Type



3. 国内事業の競争力強化・資産効率の向上

- 未延伸フィルム生産子会社の合併（2015/1 予定）
敦賀フィルム(株)、DIC子会社 → キャストフィルムジャパン(株)
（東洋紡 50%、DIC 50%）
- ポリエステル原料チェーンの強化（2015/3 予定）
ポリエステル原料(PTA)のフリー調達

進捗状況（新製品）“コスモシャイン SRF”

液晶偏光子の保護フィルム用途に展開

- 強み
 - ・ 価格競争力（ポリエステル、溶融製膜）
 - ・ 設備改造なく、使用可能
 - ・ **低透湿性**

- 販売進捗：テレビ用途で偏光板メーカーに販売
 - ・ 韓国1社 採用機種数増で拡大中
 - ・ 台湾2社 5月より本格出荷、拡大中
 - ・ 大手2社 評価進み、一部で出荷開始



韓国国内向け48型モデル
(14年2月製造)



＜ユーザーで“低透湿性”の優位性検証＞
“セルベンディング”なく、部分的な偏光度低下
(Egg斑)を起こさない

進捗状況（新製品）“ナーブリッジ”

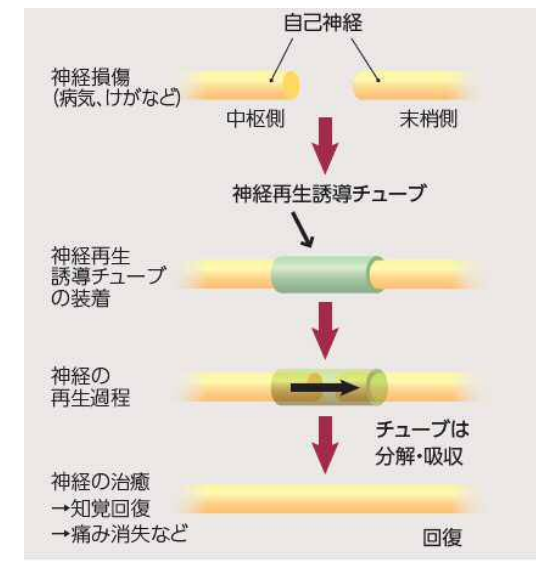
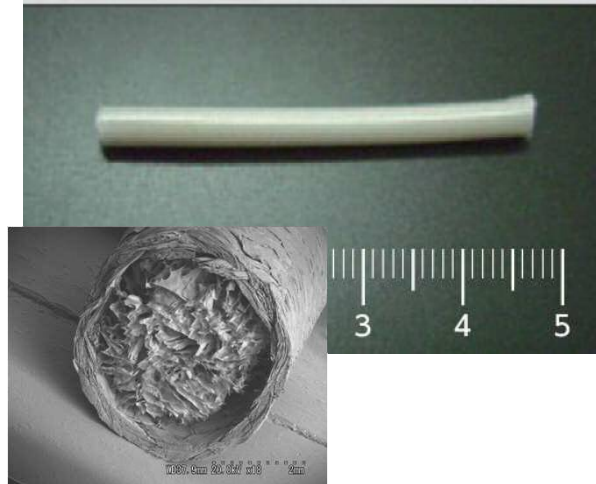
国内初の神経再生誘導チューブとして展開

- **特長**
 - ・ 自家神経移植同等の効果
 - ・ 適用可能長は世界最長(5cm) ⇔ 米国品 2cm
 - ・ 材料は体内吸収されて消失
 - ・ 一次救急病院でも対応可能

- **進捗**
 - ・ 計画線上の販売
 - ・ 使用施設数、適用症例数は順調に増加
 - ・ 顔面や胴部への適用も増加
 - ・ 回復症例報告多数

- **学会**
 - ・ 日本末梢神経学会(8/29-30、京都)
 - ・ 日本マイクロサージャリー学会(12/4-5、京都)

- **海外展開：検討中**



補 足

訴訟関連

<概要>

- ① 03年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故:1件)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起

<解決済みの訴訟—いずれも和解による解決>

- ・購入者からの集団訴訟—2005年10月
- ・事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)—2006年から2007年
- ・ドイツ州政府からの訴訟—2009年2月
- ・防弾ベストメーカーからの訴訟—2011年7月(2件)および2012年3月

<訴訟状況>

(2014.11.5現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06~07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続済	和解成立 (11年7月)	和解成立 (11年7月)	和解成立 (12年3月)	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社